

## 生産技術革新部門

静岡県浜松市 株式会社アイファーム  
(代表取締役：池谷<sup>いけや</sup>伸二<sup>しんじ</sup>氏)



- 経営規模：115ha（秋冬ブロッコリー70ha、春ブロッコリー45ha）

(注) 数字は令和2年当時のもの

## 経営展開のポイント

- ・ 平成20年に代表の池谷氏が異業種（建設業）から新規就農し、平成28年に法人化。耕作放棄地を積極的に借り入れて規模拡大を進め、静岡県内最大のブロッコリー作付面積を誇る法人に成長。
- ・ 建設業での工程管理ノウハウを活かし、独自の農業経営管理システムを構築。土づくりから出荷までの各工程を細分化して工程ごとに作業班を配置し分業化。社員全員が全工程を行うのではなく、工程ごと専門の社員が携わることで、短期間での作業技術の習熟や作業時間の安定化を可能とするとともに、作業効率に加え収穫量、品質が向上。
- ・ カメラ搭載ドローンを導入することで、画像処理解析による収穫適期の判断が可能となり、収穫回数の減少、移動コストの削減を実現。また、出荷規格のない業務用出荷を拡大することで、一斉収穫を可能とし、人件費を削減。
- ・ 画像処理解析により全ほ場の30日先までの出荷量を予測し、取引先と情報共有することで、欠品リスクの軽減、実需者ニーズに応じた販売を実現。また、最長60日の長期貯蔵技術を確立し、安定的に出荷。
- ・ 消費者ニーズに対応した、食べやすさや手軽さ、機能成分を追求した商品開発を進めるとともに、長期貯蔵技術を活かした海外輸出も検討している。